会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」（３）職業実践専門課程等に関する支援体制づくりの推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第1回普及促進WG |
| 開催日時 | 令和2年8月28日（金）　10時00分～12時00分 |
| 場所 | オンライン会議 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡 信吾 委　　　員：増子　卓矢、岡村　慎一、谷　昌一、松田　義弘　　　　　　　　　　　　　　　 計5名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　 計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 合計6名 |
| 議題等 | 1. WGリーダー挨拶（増子）
2. 委員紹介（各委員）
3. 事業概要の共有（岡村）

・専修学校における自己点検・評価の結果の相互検証、共通的評価基準モデルの開発と運用⇒学校評価を、専門学校・専修学校で、①自発的に　②規模に関係なく③第三者評価に近い形で　④安価で実施できるモデルを目指す。⇒現状の自己点検・評価の実態を把握することで目指すモデルを具体的　にする。　⇒第三者評価の違いを明確にし、一定の価値が得られる基準を提供することで、積極的に説明責任が果たせるようになることを目指す。・今後3年で実施していくが、文科省より、終了後4年目以降には、専門学校が自立的に相互の中で運用・普及ができるようになることを要望されている。・普及促進WGでは、本事業の進捗状況・成果を外部に発信していきながら、事業内容に関心を集め、普及促進できる土壌づくりを作っていく。2. 本年度WGで行う事業（増子）・中間成果報告会の開催　⇒中間成果報告会で上層部向けに本事業の報告、評価基準モデルが形に　　なってきたら、現場担当者向けに実態調査結果や評価基準モデルのセミナーを開催する。⇒令和3年2月の全専研の例会で実施するが、オンラインを予定しているので、どのような形での発表になるかは現時点では不明。・HPでの情報開示（飯塚）　シンプルな形で、事業内容・成果を情報開示する予定。3. スケジュール確認（増子）・WG開催は10月、11月、12月、1月、2月。　なお、本WGの日程は、理事会および他のWGの進捗を念頭に入れ次回委員会を設定する。・11月から中間成果報告会の準備、12月からHP作成の準備を予定。・9月の実態調査WGにオブザーバー参加する。・実態調査WGとの合同開催も検討。・他の文科省事業との連携を、進捗を含めどのような形にしていくか、　後半に段取りをしていく必要がある。・今後の開催方法については、状況を見ながら対面も検討していく。1. その他

・3事業、三菱総研との提携事業の説明（岡村）・対面開催時の移動の際はGoToキャンペーンの使用は禁止。（飯塚） |
| 配布資料 | ・事業計画書・全体管理ファイル |

以上